



# 奈良のわらべうたコンサート

伝統を現在へ、現在から未来へ

## 奈良のわらべうた

「奈良の大仏さん」「大きむ小さむ」「おん祭の歌」

出演：奈良教育大学音楽教育講座学生  
帝塚山大学現代生活学部こども学科学生  
奈良教育大学附属中学校音楽部 指揮：川合利幸（29日）

万葉のうたを訪ねるひととき—万葉集によるパフォーマンス—（29日）  
出演：奈良教育大学 国語教育講座学生 監修：棚橋尚子

## 奈良の民話の音楽物語（朗読と音楽）（28日）

「蛙になった人間」「弘法清水」「義経の隠れ塔」  
出演：奈良教育大学音楽教育講座学生

## 奈良とその周辺

中田喜直「日本のおもちゃうたより お手玉とおはじき おまつりはどこ」  
Sop. 宮田知絵 Pf. 北條美香代

矢代秋雄「ピアノソナタより第1楽章」 Pf. 池田崇雄

平井康三郎「平城山」 Ten. 水野亜歴 Pf. 劉麟玉

牧野卓夫「炎の花」 Ten. 越智一樹 Pf. 池田崇雄

ピアノ連弾 寺島尚彦「冬の街と幸せの夢と」 寺嶋陸也「歌垣」  
佐々木邦雄「大洋の鼓動」 Pf. 小川碧 杉浦佐知子

他

2017年 10月 28日（土）13:30 開場 14:00 開演  
王寺町地域交流センター リーベルホール

2017年 10月 29日（日）16:30 開場 17:00 開演  
わらべうたの館 奈良市音声館  
入場無料

主催：奈良教育大学音楽教育講座 共催：帝塚山大学現代生活学部こども学科

後援：奈良市 奈良市教育委員会 奈良県教育委員会 王寺町教育委員会 日本音楽表現学会

お問い合わせ先：0742-27-9375（劉研究室）0742-27-9213（北條研究室）0742-41-4769（宮田研究室）

## 演奏会コンセプト「伝統を現在へ、現在から未来へ」

わらべうたは重要な無形文化財である。民族音楽学者・故小泉文夫は、わらべうたは「その民族のコトバに密着しており、そこには生活環境が反映されている。また『わらべうた』の中にはその民族の古い習慣や信仰が残っていたり、文化の成長過程が投影されていることもある」と述べた。日本各地の自治体もこれまで、その重要性を認識し、わらべうたの調査や関連イベントを行ってきた。奈良市もそのような自治体のひとつであり、毎年10月に「ならまちわらべうたフェスタ」という大きなイベントを開催していることで知られている。奈良という地で教員養成教育に携わっている私たちも、地元のわらべうたを学校現場でより多く取り上げるべきだと考えている。

しかし、現行の音楽教科書に掲載されているわらべうた教材では不十分であるというのが私たちの率直な思いであった。それぞれの地域で伝承されてきたわらべうたをその地域の子どもたちに演奏してもらいたい。そのために、地域性があり、難易度が適切であり、小中一貫教育という長いスパンの中でわらべうたを学び続けられる教材が必要であると考えた。特に、学び続けることは奈良教育大学が長年取り組んできた教育理念のひとつESD(持続可能な開発のための教育)を反映する。この理念に基づき、私たちは奈良の世界遺産である東大寺と春日大社に関連する3曲のわらべうた《奈良の大仏さん》《大さむ小さむ》《おん祭の歌》を選び、教材開発に着手した。それらを本学音楽講座の北條准教授が作曲・編曲し、それによって様々な演奏形態で楽しむことが可能となった。

奈良教育大学の学生は関西地域を始め、日本全国から集まってきている。このイベントを通して、彼らがわらべうたを普及することの意義を理解し、地元に戻り、教員として地元のわらべうたを伝承し、その意義を広めていってほしいと思う。今回のコンサートは、私たちの考えに共感して下さった帝塚山大学の宮田先生とこども学科の学生さんとの共演という形で実現した。なお、今回のコンサートには、わらべうたのほか、子どもの文化に関連する声楽作品なども取り入れた。大人も子どもも楽しめる演奏会になることを願っている。(劉麟玉記)

### 出演者 Profile



水野亜歴 Areki Mizuno(Tenor)

香川県生まれの埼玉育ち、奈良市在住。幼少の頃から声楽家の父の背中を見て、歌を聴いて育つ。東京音楽大学卒業、同大学院修了。第33回ソレイユ音楽コンクール第2位「優秀賞」受賞。これまでに声楽を水野賢司氏、佐野成宏氏に師事。在学中よりオペラや歌曲、宗教曲の他、映画「愛の渦」、「ズタボロ」等のサウンドトラックにてテノール独唱、映画『北のカナリアたち』の歌唱指導等を行うなど精力的に活動している。東京音楽大学非常勤助手を経て、現在は奈良教育大学特任講師。



宮田知絵 Chie Miyata(Soprano)

大阪音楽大学声楽学科卒・同大学院修了。エルピス国際芸術連盟声楽コンクール歌曲部門第1位、ノーヴィ・ヴェーチェル国際コンクール第1位、文化庁後援：全国童謡歌唱コンクール近畿ブロック第1位、同全国大会第2位。外務省後援の演奏会成果に対し名古屋市長賞を受賞。CD「日本歌曲全集3集」「同6集」に収録の他、リサイタル、NHK・FM放送などで活躍。演奏以外では名曲を解説した著書『故郷(ふるさと)』など、作品研究・学術・子どもと音楽教育研究など、多彩なフィールドに取り組んでいる。帝塚山大学現代生活学部 准教授

### 劉 麟玉 Liou, Lin-Yu (プロデューサー、ピアノ)

台湾生まれ。洗足学園大学音楽学部ピアノ科を卒業後、お茶の水女子大学大学院修士課程人文科学研究科舞踊教育学専攻演奏学講座修了、同大学院博士課程人間文化研究科単位取得退学。2002年、お茶の水女子大学より人文科学博士号取得。四国学院大学教授、台湾中央研究院と米国カリフォルニア大学ロサンゼルス(UCLA)校の客員研究員などを歴任。2010年、奈良教育大学音楽教育講座に准教授として着任。これまでピアノを故・武石とも子、故・遠藤秀一郎、Robert Tsaiに師事。専門は音楽教育学、民族音楽学。

### 北條 美香代 Mikayo Hojo (作曲、ピアノ)

東京藝術大学大学院博士後期課程修了。学位を取得。同大学学部在学中に安宅賞を受賞。「石川の三文豪によるオーケストラ歌曲作品コンクール」優秀賞等受賞。これまでに、横山詔八、浦田健次郎、川井學、故・山田泉、故・小山薫の各氏に師事。現在、奈良教育大学教育学部准教授。主要作品：「室生犀星の詩による5つの歌」(01年岩城宏之指揮オーケストラ・アンサンブル金沢によって初演。'05年ジャン・ピエール・ヴァレーズ指揮同オーケストラによって再演)「激艶」(CD; 作曲家グループ Cue× 大田智美 [ALCD-90] に収録)等。

### 川合 利幸 Toshiyuki Kawai (指揮)

奈良教育大学教育学部芸術科音楽卒業。その後西ドイツミュンヘン大学にて音楽学を学ぶ。1988年奈良教育大学附属中学校着任。1992年I S M Eソウル大会で日本の伝統音楽の共同ワークショップを行う。2003年より附属中学校音楽部と東大寺学園弦学部との合同オーケストラを組織する。2005年マレーシアにてJICA共催のワークショップを主宰。2010年韓国、建国大学校にて韓国伝統音楽の教材化について研究発表を行う。

奈良市音声館 〒630-8335 奈良市鳴川町32-1

近鉄奈良駅より徒歩15分 JR奈良駅より徒歩20分 奈良交通市内循環バス北京終町より徒歩5分

王寺町地域交流センター リーベルホール 〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度2-2-1-501

JR王寺駅改札口すぐ リーベル王寺東館5階

